

トゲソの会活動ニュース3号

7月・8月・9月

2012年9月

NPO法人
五泉トゲソの会

1、高齢者大学講座でトゲソの活動を紹介（7月12日）



▲トゲソの会のブースで活動説明

ボランティアの意欲のある人が参加している「新潟県高齢者大学講座」でトゲソの会が紹介されました。7月に新潟市のユニゾンプラザで開かれました。合同会議には、子育て支援やシティガイドなどを含め県内10団体が参加し、受講生の皆さんに活動をアピールしました。

受講生は3回にわたり関心のあるブースを訪問しました。そして、興味ある分野の活動内容を聞いていました。

中には五泉市から受講している方もおられ、トゲソの会のブースに参加していただきました。

2、四ッ屋新地区のトゲソの水路江浚い作業（7月15日）



▲トゲソもいました。江浚い作業。

梅雨時期で天候が危ぶまれた江浚いでした。7月15日に活動を実施しました。

この作業は、地元農家の皆さんと水路の維持管理を一緒にして、溜まったドロをはね上げるものです。また、トゲソの現状を確認するためにも、大事な活動です。

作業は4人と少ない参加者でした。「今年もトゲソは元気だった」と確認ができ、ホットしております。今年、紅一点で会員の渡辺さんが活動に加わっていただきました。胴長靴を履いた慣れない作業にお疲れ様でした。

3、夏の「早出川清流スクール」体験教室を実施（8月5日）

夏の「早出川清流スクール」が、8月の第一週日曜日に開かれました。

今年から、助成先が「子どもゆめ基金」に変わりました。スクールは児童体験を重視したプログラムとなり80名ほどが参加しました。

猛暑続きで、早出川の水位も低下していました。参加者は元気にカヌーと魚捕り(カジカ捕り)体験に挑戦しました。

まず、準備体操から始まり着衣水泳で水に慣れました。その後、2コースに別れ体験を学びました。初めての体験活動となった「カジカ捕り」でも、タマ網を使って子どもたちがあつと



▲天候にも恵まれた「清流スクール」

いう間にカジカを取ることを覚えていました。

カヌー体験は、希望者が多く15名の定員をオーバーしました。教室では、指導者からパドルの使い方を教えてもらい、終了時にはある程度まっすぐ漕げるまでに上達することができました。

事故もなく、お昼には豚汁をいただき無事終了しました。「日本自然環境専門学校」の生徒の皆さんから監視をしていただきました。カヌーを貸していただいた五泉市と指導者の皆様々に感謝を申し上げます。



楽しかった清流スクール
カジカを取ったぞ！
カヌーにも乗れました

4、阿賀野川自然再生検討会に出席(7/25準備会・9/3検討会)



国土交通省阿賀野川河川事務所より「阿賀野川自然再生検討会」の委員として当会の事務局長中村が委嘱され、7月の現地視察会と第1回委員会に出席しました。

阿賀野川は、福島県の荒海山を源流として日本海に注ぐ大河です。昔は、鮭・アユが豊かに遡上し、かつては「ワンド」というような湧水の湧く溜まり場所がたくさんありました。ここにはトゲソが生息し、魚の稚魚が成育する場所として機能していました。

実際に、直轄管理区間である早出川本流の桑山地区に湧水とトゲソの生息が確認もされています。しかしダム等の建設とともに、水流の固定化、砂礫川原の減少、湿地やワンドの消滅と生物多様の宝庫であった川が消滅しています。

このような状況を踏まえ、阿賀野川河川事務所では自然豊かな流域環境を守り、阿賀野川らしい河川環境の再生を目指し、検討会を立ち上げました。

今後は年度内の検討を進め、阿賀野川自然再生計画が策定される予定です。また、計画にともない事業が検討されています。



▲上 阿賀野川渡り場の堰
下 第1回目検討会の様子

委員は、新潟大学関係の3人の委員と他漁業協同組合、新潟県野鳥愛護会の代表7人で構成されています。阿賀野川の特性として ①砂礫川原の再生 ②ワンド等の湿地の再生 ③流れの多様性の再生などが検討されています。

5、白根・根岸地区保存会等のお魚調査を支援（8月24日）



8月の末に白根地区の根岸地区保全会・コミュニティ協議会・白根土地改良区主催の「水路のお魚調査」が開かれました。夏休み体験として参加した子どもたちは、きっとドキドキするような体験だったと思います。トゲソの会は、捕った魚の解説などで協力しました。

6、引き続いて後期の総合的学習を支援（8月31日～9月19日）

6月～7月の前期総合学習支援に引き続いて、8月～9月の支援が始まりました。まず、最初は川東小の新江川での「生き物調」から始まり、五泉小学校の「川瀬清流の里公園」の生き物調査などを実施しました。東小は土堀のトゲソの里訪問などに来てくれました。2ヶ月で4回、児童の皆さんと一緒に水の循環やトゲソの生態などを勉強しました。今年は、これから2回ほどの総合学習の支援が残っています。



▲8/31 川東小4年・新江川



▲9/12 東小・トゲソの里



▲9/19 五泉小・川瀬公園調査

7、竹下景子と「白い馬の物語」チケットを発売（9月23日）

当会が参加している「白い馬の物語」五泉市上演実行委員会では、上演されるモンゴル国立馬頭琴オーケストラの演奏と竹下景子の「白い馬の物語」朗読を内容としたチケットを発売しました。

五泉市地域の振興や子どもたちの教育振興と国際交流の支援のため、11月25日（日）に開催されます。チケットは市内6箇所が発売している他、トゲソの事務局でも取り扱っています。値段は大人3,000円、子どもが1,500円です。詳しくは、同封のチラシをご覧ください。

- 公演 モンゴル国立馬頭琴オーケストラ
×竹下景子「白い馬の物語」
- 日時 2012年11月25日（日）13:30開場14:00開演
- 場所 五泉市さくらんどう会館 イベントホール



※前日11/24の児童ワークショップに参加の希望がありましたら、お知らせ願います。

- ①10月12日(金)～四国愛媛県西条市 湧水保全フォーラム全国大会
出席はできませんが、パネルで参加します。
- ②10月13日(土)～14日(日)

モンゴル文化展in五泉のご案内

「白い馬の物語」五泉市上演実行委員会の一
である、ごせん市民ミュージカル上演委員会が
ンゴルの人と文化や音楽を知ろうと「モンゴル
化展in五泉」を計画しました。10月13日(土)
開かれます。馬頭琴の演奏やモンゴルの写真
があります。

五泉トゲソの会でも協力しています。詳しい内
は同封のチラシをご覧ください。



- 日 時:平成24年10月13日(土曜日)
開会 9時半より午後5時まで
- 会 場:五泉市立図書館2階(郷屋川)
入場料:無 料

▲相田憲克さんの写真展があります。
ーモンゴルの子どもたちー

- ③10月20日(土)AM9:00～第12回 トゲソの個体数生息調査
土堀水路脇小屋前に集合。お昼に「とげそ米」と里芋汁がでます。ご参加を願います。
- ④11月10日(土)AM13:00～五泉さといも掘りと試食会 猿和田地区 里芋畑
東京からのツアーですが、県内・地元の方も参加できます。
地元参加者費用は、里芋5kg・とげそ米1kg持ち帰り、里芋料理の夕食付き7千円です。
- ⑤11月17日(土) 東京・五泉応援団総会出展／ふるさと村「NPOフェスタ」に出展予定

☆☆☆☆☆「地域ブランド商品紹介」のホームページもご覧ください。☆☆☆☆☆



五泉トゲソの会では、「地域ブランド商品」を紹介
する「トゲソ村・湧水の里市場」のホームページを開
設しています。随時、「トゲ男・トゲ子のブログ」も公
開しております。湧水の恵みセットの販売を準備中
です。こちらのホームページもご覧いただけますよう
ご案内いたします。

★事業部門ートゲソ村湧水の里市場

<http://www.togeso.com/>

★トゲソの会ホームページ <http://www.geocities.jp/gosentogeso/index.htm>

- 特定非営利活動法人 五泉トゲソの会 理事長 高橋荘三
事務所 住所 959-1645 五泉市土堀295番地 担当スタッフ 浅井美乃里
電話 0250-47-4439 ・FAX 0250-47-4440 メール gosen@togeso.com
事務局 住所 956-0862 新潟市秋葉区新町2丁目8-10-1中村吉則方
電話・FAX 0250-22-0271 メール: togeso@beige.plala.or.jp
- ホームページ <http://www.geocities.jp/gosentogeso/index.htm>